

RACING
OIL COOLER **BR**

取 付 説 明 書

TOYOTA GR86 / SUBARU BRZ
ZN8 / ZD8

BLITZ

この度は弊社製品を御買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

お願い！！

- この取り扱い説明書には製品を使用する際と自動車に装着する際の注意事項が詳しく記載してあります。よくお読みになって、正しくご使用下さい。
- 本書は、いつでも取り出して読めるように車内に大切に保管しておいて下さい。

装着車両可能車両と製品の仕様

- 車名：TOYOTA GR86 / SUBARU BRZ
- 型式：ZN8/ZD8
- エンジン：FA24
- 年式：2021/10- (ZN8) / 2021/08- (ZD8)
- 製品名称：BLITZ RACING OIL COOLER KIT BR
- 製品番号：10479

注) 適合情報は変更される場合があります。詳しくは弊社 Web サイトをご覧ください。

製品についてのご相談先

製品についてのお問い合わせ連絡は、お電話または FAX にて下記宛にお願いします。

- 連絡先：(株)ブリッツ
- TEL：0422-60-2277
- 住所：東京都西東京市新町 4-7-6
- FAX：0422-60-0066

はじめに確認して下さい！

■この製品は、表記リストの部品及び付属品で構成されています。不足品や不具合のある場合は販売店までご連絡下さい。作業前に、作業手順、必要部品を十分確認の上、不足部品等が無いよう準備を行ってから作業を開始して下さい。


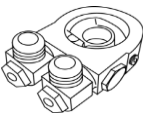


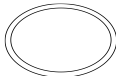
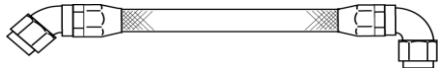
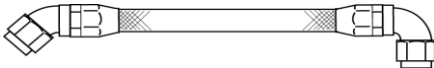



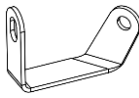
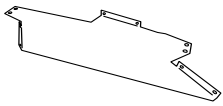
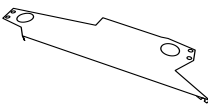
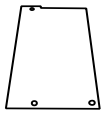
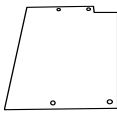
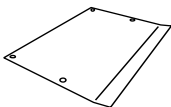
■本製品を装着前に落としたり、装着時に無理な力を加えたりしないよう、取り扱いには十分注意して下さい。

装着不良でオイル漏れや故障の原因になる場合があります。

重要事項の確認

- 本製品はノーマル車両を基準に製作されています。社外品（純正品以外）のパーツ（パイピング K I T、ラジエター、スロットル、インタークーラー等）を装着されていたり、事故歴のある車両の場合は本 K I T の装着ができない場合があります。
- 出力向上等に伴うエンジン本体及び駆動系部品の破損等に関する保証は致しかねます。
- 作業中に車が動きだしたりしない様に平坦な場所でパーキングブレーキ等をかけて確実に停止させて下さい。また、エンジンが完全に冷えてから作業を開始して下さい。
- 作業は自動車メーカー発行の作業手順書(修理書)の記載内容を確認し指示に従って行って下さい。
- 装着後は日頃のメンテナンスを十分に行い、各部の緩み等をチェックし増し締めを行って下さい。
- 表記車種以外の車に取り付ける際の加工については、当社は一切責任を負いません。
- エンジンオイル漏れは車両火災となる恐れがあり、大変危険です。走行前には必ず点検を行なって下さい。
- 異物の混入によるエンジン破損を防止する為に、作業中はコア、ホース、アタッチメント、フィルター、エンジンブロックには封をする等、異物が入らないよう注意して下さい。
- オイルフィルターは再使用せず、新品を使用して下さい。
- 取扱説明書は作業終了後も紛失しないように大切に保管して下さい。
- 一般公道での走行は、道路運送車両法を守って走行して下さい。

■パーツリスト■

コア本体		オイルブロックASSY					
	1		1				
センターボルト		ハイトアジャスター		Oリング			
	1		1		1		
クーラーホースNo.1(L=1600mm)				クーラーホースNo.2(L=1510mm)			
		1				1	
ステーNo.1		ステーNo.2		ステーNo.3		ステーNo.4	
	1		1		1		1
エアガイドNo.1		エアガイドNo.2		エアガイドNo.3		エアガイドNo.4	
	1		1		1		1
エアガイドNo.5							
	1						
フランジボルトM6×16	12	ワッシャーφ16	20	フランジナットM6	12		
ボタンボルトM5×8	11	フランジナットM5	11	タイラップ	10	コルゲートチューブ(4m)	1

エンジンオイル必要量 (L)		
オイルフィルター交換時	本製品必要量	合計
5.0	約1.1	約6.1

□仕様

- BLITZ OIL COOLER KIT は、オイルブロックをオイルフィルターで挟んで固定するタイプのオイルクーラーです。オイルブロックにはサーモスタッドを内蔵し、油温がサーモスタッドの作動温度に達するとオイルはコア本体へ循環し冷却されます。サーモスタッド作動温度以下の場合にはコア本体へのオイルの循環は行われず、過剰冷却を防ぎエンジンに最適な油温を維持します。周囲には PRESS 及び TEMP センサー取り付け用の穴が設けられています。
- 新開発のバンジョウタイプ自在ユニオンを採用し（一部車種）、ホースの取り出し向きが向上しています。
- 新開発のフィッティングを採用し、オイル漏れに対して大幅に信頼性を向上させています。
- ホースは車種に合わせ最適な長さにカットされ、フィッティングがセットされています。キット取り付け時にフィッティング組み付け等の面倒な作業はありません。

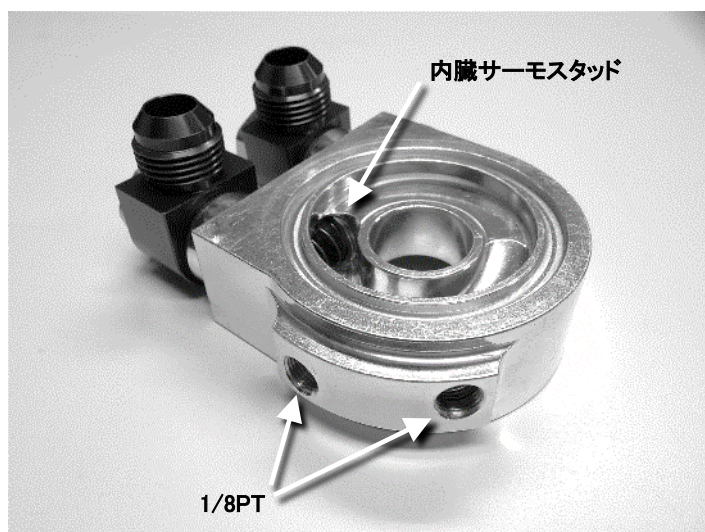
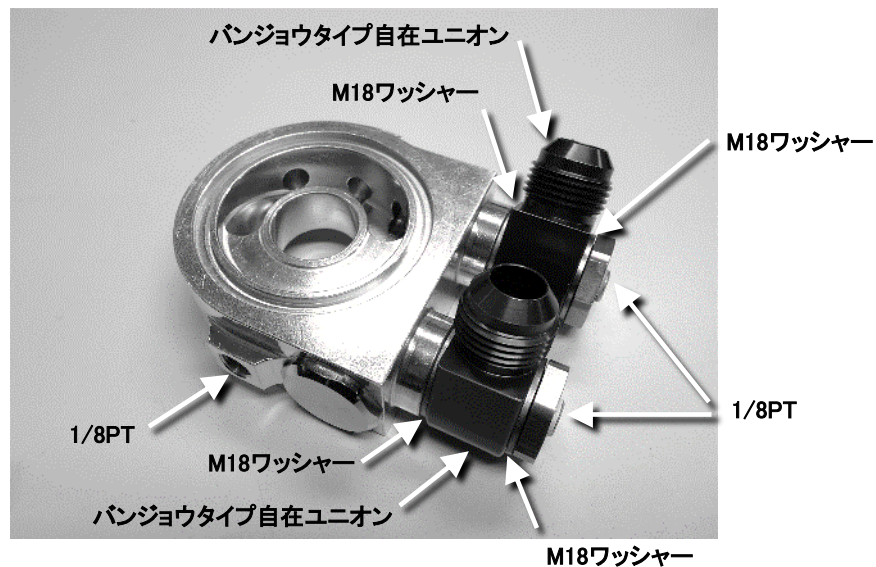
●サーモスタッド作動温度：70℃～85℃±3℃

●センサー取り付け穴：

1/8PT（弊社 PRESS/TEMP センサーの取り付けが可能です。）

※車種により周囲のスペースが確保できない為、センサーの取り付けが出来ない場合もあります。

※車種によりキットに付属されるユニオンの種類が異なります。



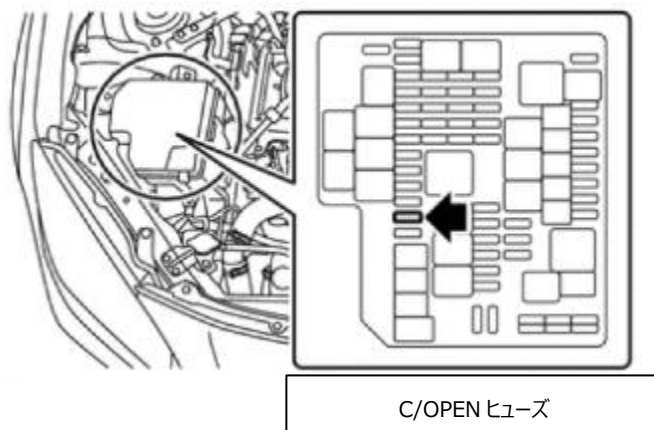
□組み付け作業手順

- 製品の装着にあたっては取り付け作業者が責任を負うことになります。特に分解整備についての経験や知識の無い方は故障や事故を未然に防ぐ為、認証整備工場などの資格のある専門店で作業を行って下さい。
- 作業の方へお願い。作業が終了しましたら、本取扱説明書は必ずお客様にご返却下さい。
- 作業前に必ず純正のホースやバンド等の部品に、変形、割れ、ひび等の劣化を点検して下さい。劣化が生じていたら純正品の新品に交換して下さい。
- 作業を行う前に新品のオイル、及び新品のオイルフィルターを準備して下さい。
GR86/BRZの場合オイルフィルター交換時の規定オイル量は5.0Lになります。
オイルクーラーコアとホース類を装着することで約1.1Lオイルを追加する必要があります。
- 本文中の純正品とは、自動車メーカーの標準装着品の意味です。

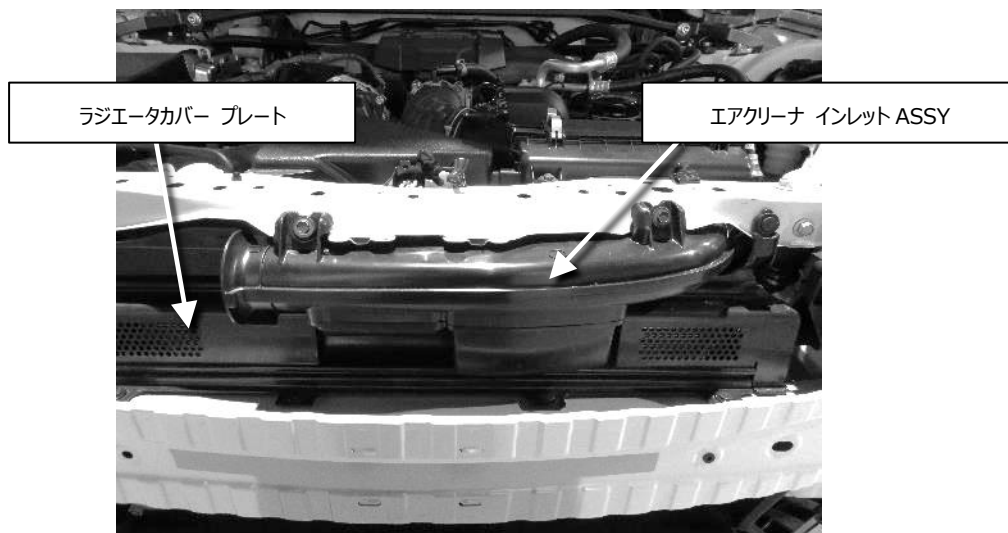
□ノーマルパーツの取り外し

※詳細については自動車メーカー発行の作業手順書(修理書)の記載内容を確認し指示に従って作業を行って下さい。

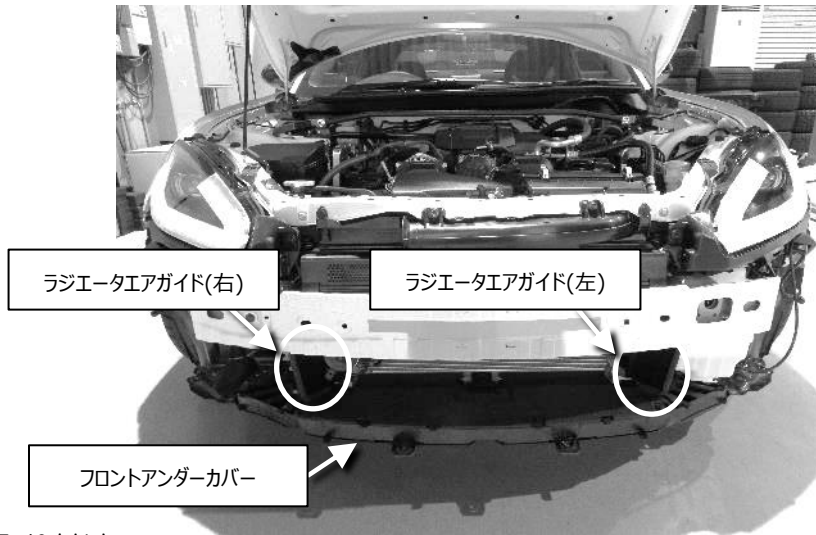
- 1) エンジンルーム右側にあるリレーボックスより C/OPEN ヒューズを取り外します。



- 2) エンジンを始動し、停止するまで作動させます。エンジン停止後、IG OFF にします。
- 3) 再度エンジンをクランキングし、エンジンが始動しないことを確認します。
※ダイアグコードが検出される場合があるため作業終了後はダイアグコードの点検/消去を行います。
- 4) バッテリーのマイナス端子を切り離します。
- 5) エンジンオイルを抜き取り、オイルフィルターを取り外して下さい。
- 6) フロントバンパーを取り外します。
※必要に応じて取り外した部品にマーキングを行いながら作業を行って下さい。
- 7) エアクリーナ インレット ASSY 及び、ラジエータカバー プレートを取り外します。

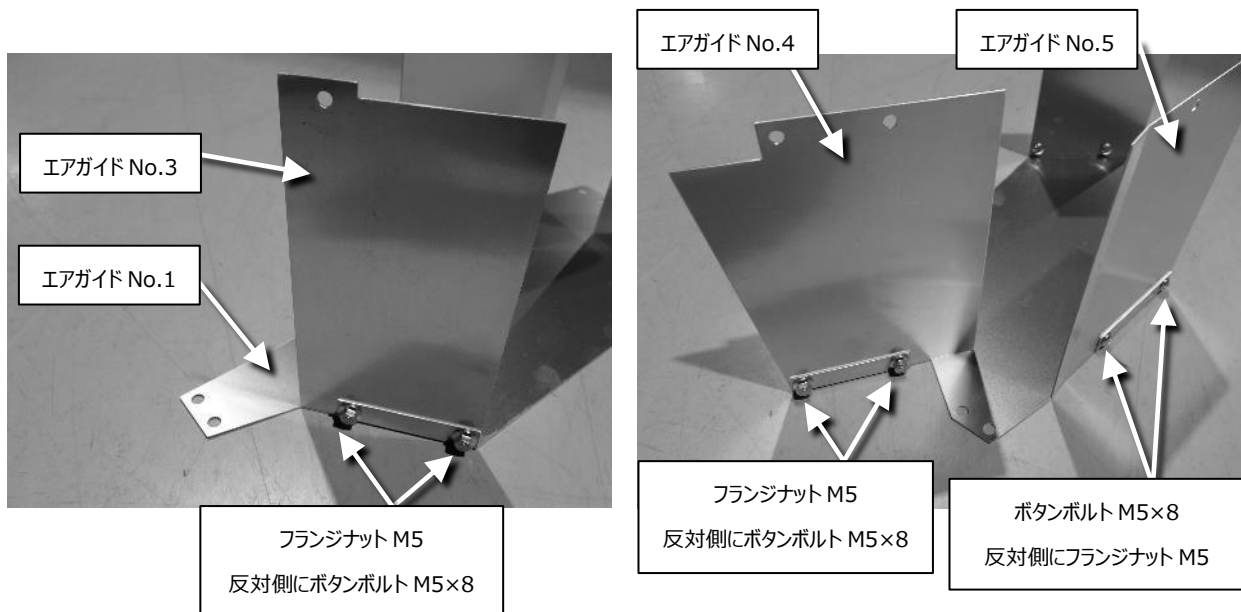
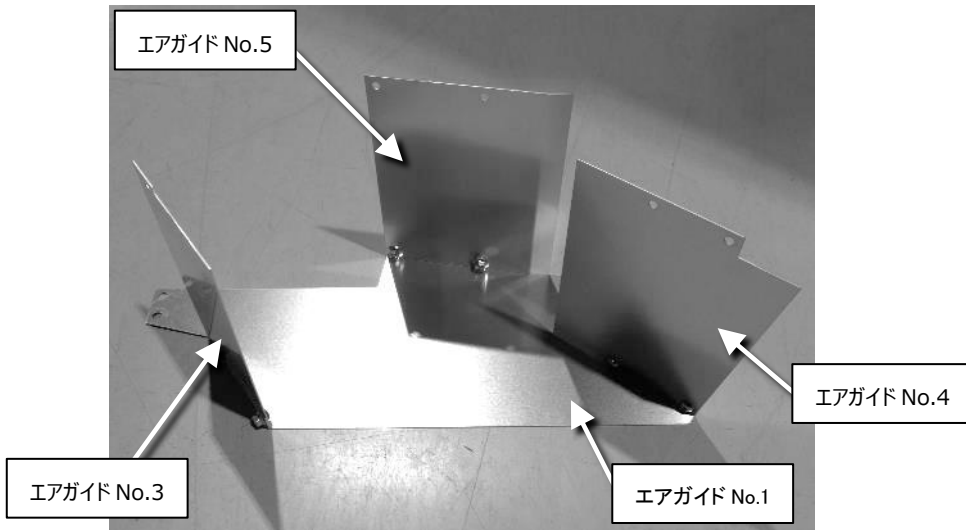


8) ラジエータエアガイド左右及びフロントアンダーカバーを取り外します。

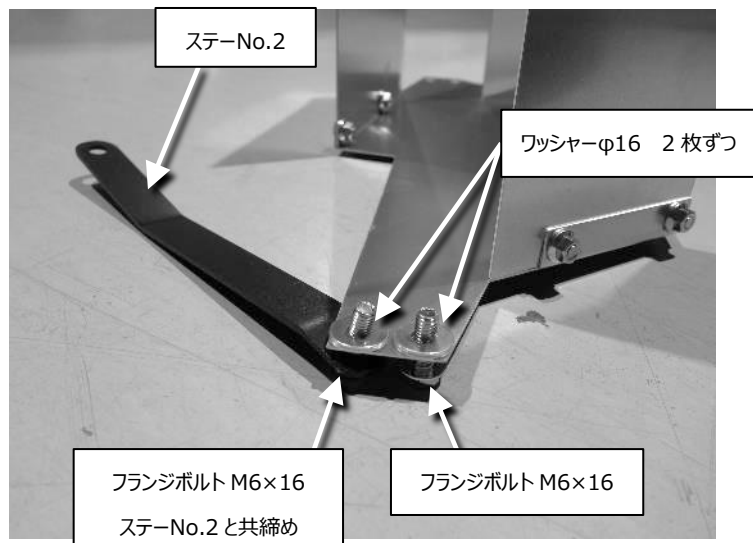


ロケットの取り付け

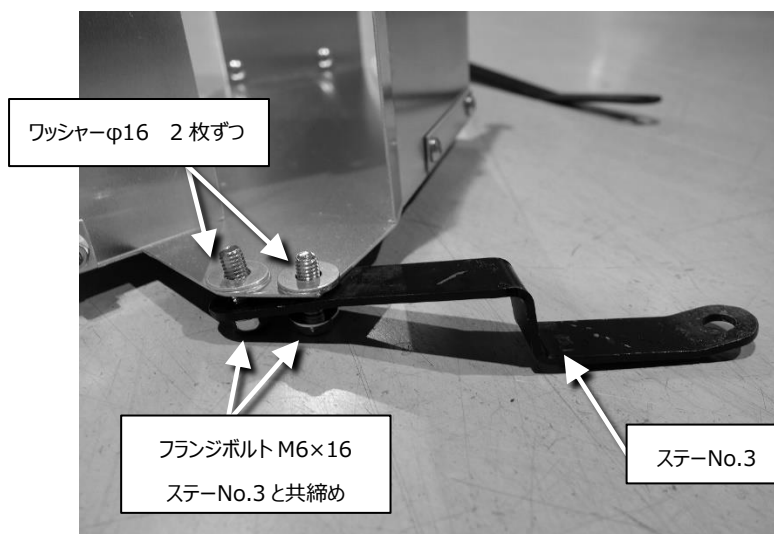
- 1) エアガイドを仮組します。
エアガイド No.1 へエアガイド No.3、No.4、No.5 を取り付けます。
付属のボタンボルト M5×8 及びフランジナット M5 を使用し仮組します。



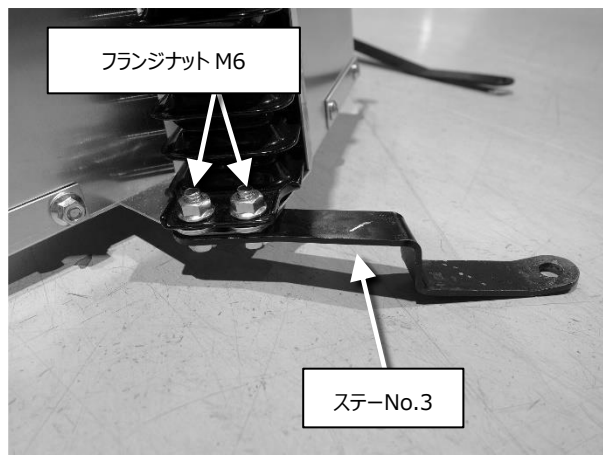
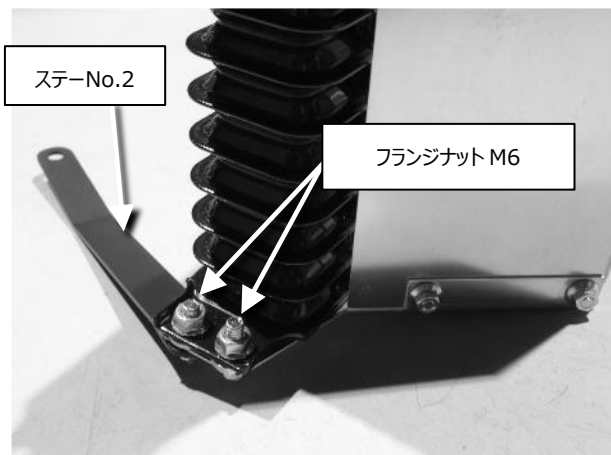
- 2) ステアNo.2 を仮組します。図を参考にステアの向きに注意して下さい。
 エアガイド No.1 の下側から付属のフランジボルト M6×16 を 2 本通します。
 図を参考に片側にはステアNo.2 と共締めします。
 エアガイド No.1 の上に付属のワッシャーφ16 を 2 枚ずつ重ねます。



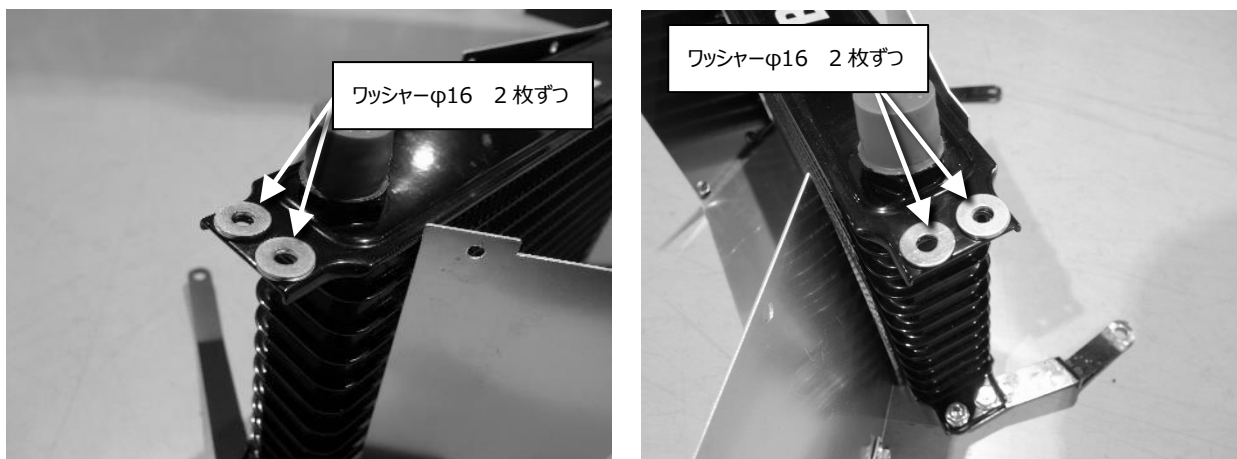
- 3) ステアNo.3 を仮組します。
 エアガイド No.1 の下側から付属のフランジボルト M6×16 を 2 本通します。
 図を参考にステアNo.3 と共締めします。
 エアガイド No.1 の上に付属のワッシャーφ16 を 2 枚ずつ重ねます。



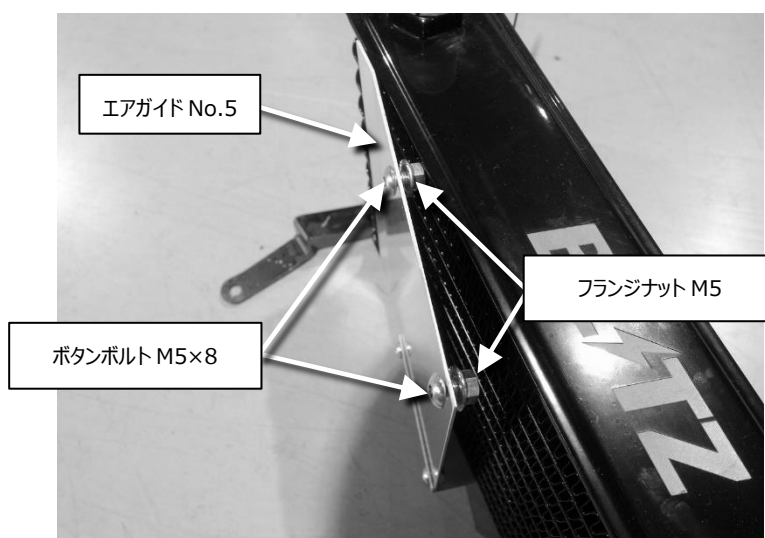
- 4) コア本体をエアガイド No.1 の上に置き、付属のフランジナット M6 を使用して仮組します。



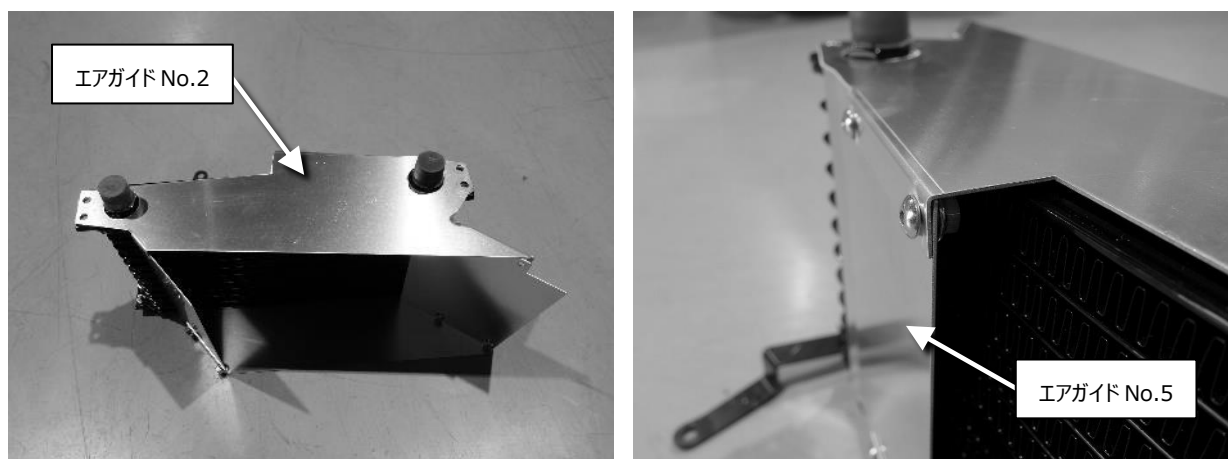
5) コア本体の上側左右へ付属のワッシャーφ16を2枚ずつ設置します。



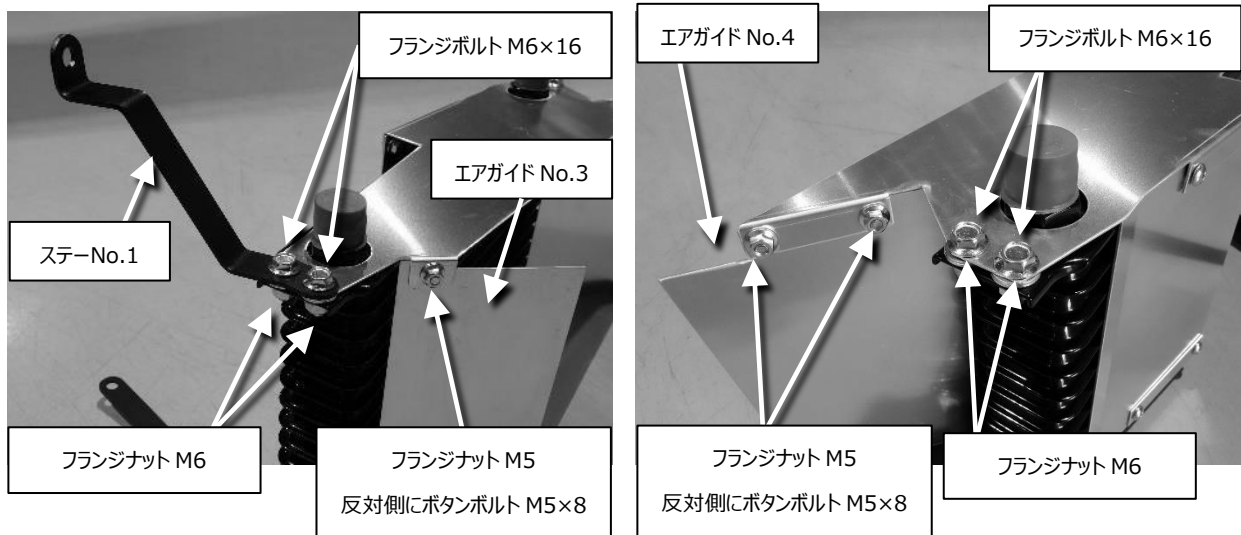
6) あらかじめエアガイド No.5 へ付属のボタンボルト M5×8 及びフランジナット M5 を仮組します。



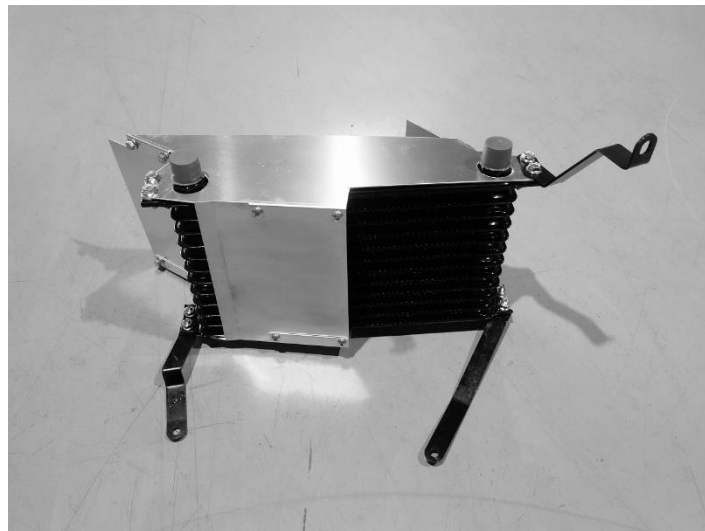
7) エアガイド No.2 をコア本体に上から被せるように仮組します。
図を参考にエアガイド No.2 とエアガイド No.5 を仮組します。



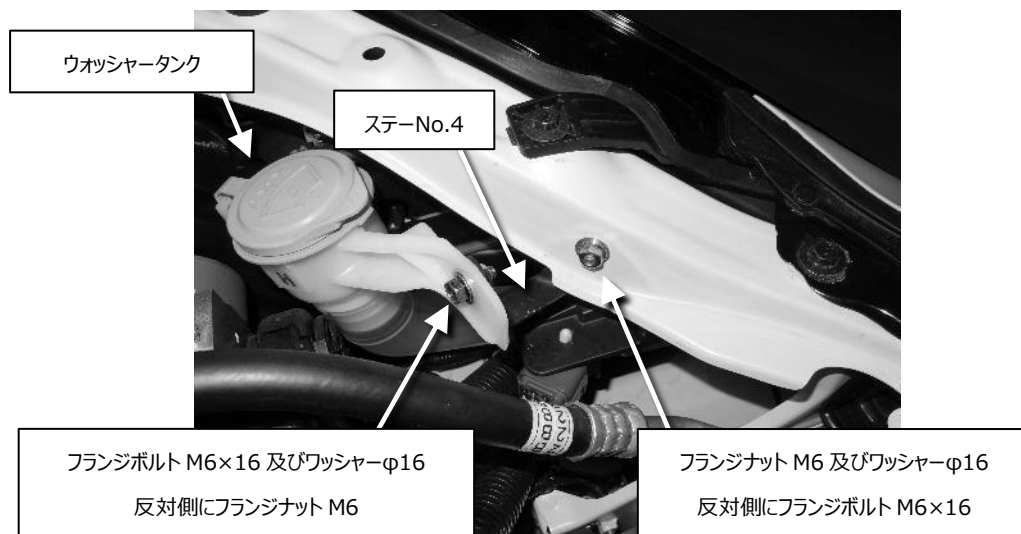
- 8) ステアNo.1 とエアガイド No.2 を付属のフランジボルト M6×16 及びフランジナット M6 を使用して仮組します。各エアガイドは付属のボタンボルト M5×8 及びフランジナット M5 で仮組します。



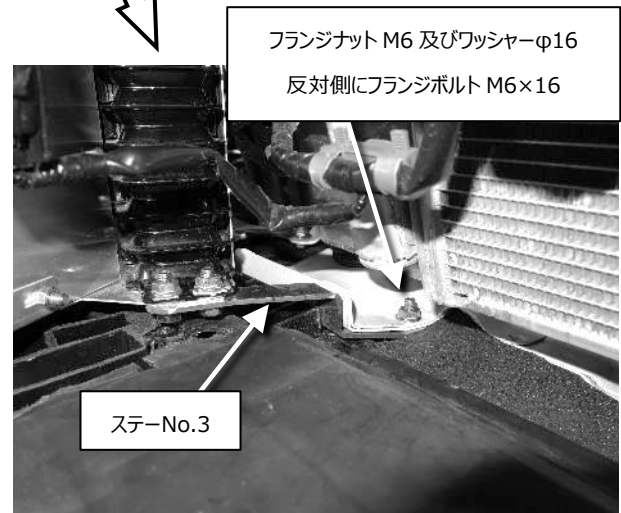
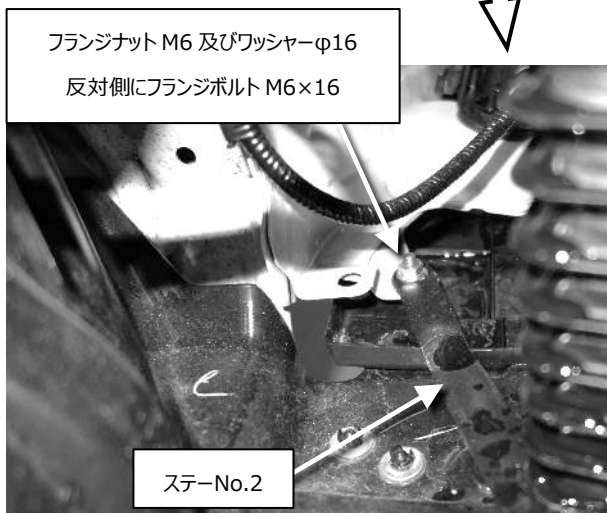
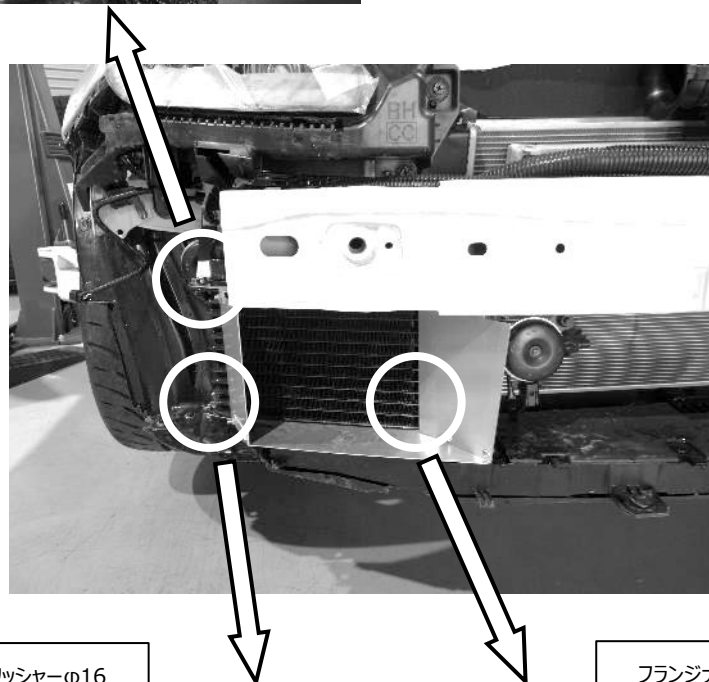
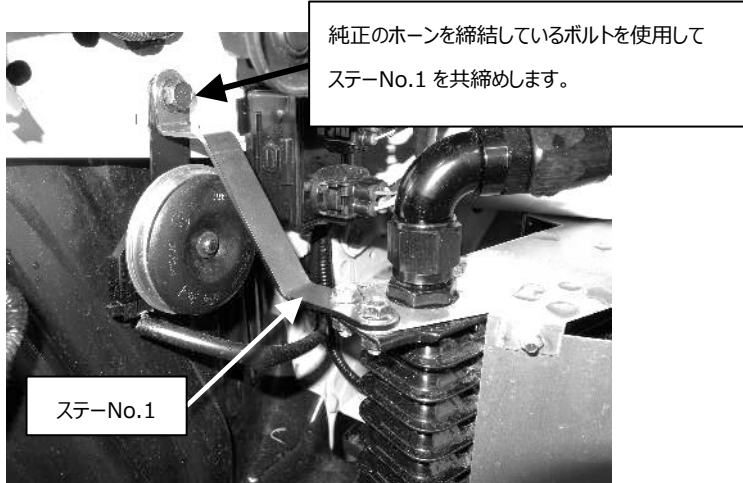
- 9) エアガイドを固定しているボタンボルト M5×8 及びフランジナット M5 を締め付けます。
※各ステアの締め付けは行わず仮組状態にして下さい。



- 10) 図を参考にステアNo.4 をボディとウォッシャータンクに取り付けます。



- 1 1) 組み立てたコア ASSY を車両へ仮組します。
 ※図はフロントアンダーカバーが取り付けられた状態ですが、この時点ではまだ取り付けは行いません。



1 2) オイルブロック ASSY 及び、ハイトアジャスターを付属のセンターボルトを下記イラストの順に仮組します。

※オイルブロック溝部へ付属の O リングに少量のエンジンオイルを塗布して組付けて下さい。

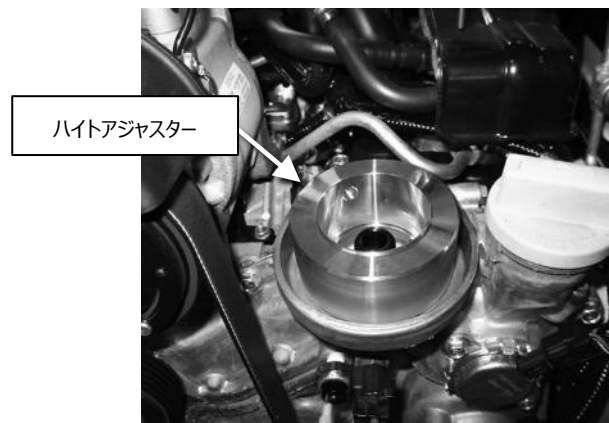
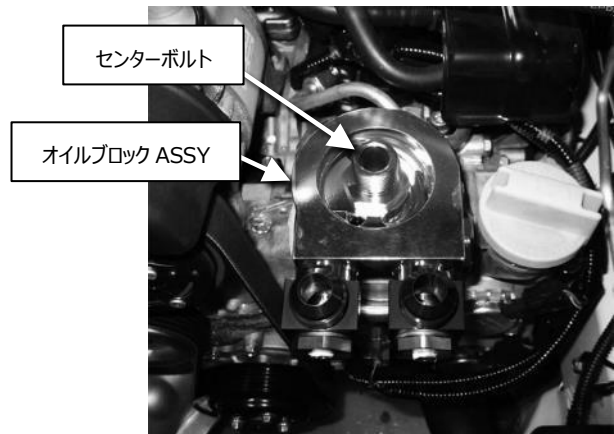
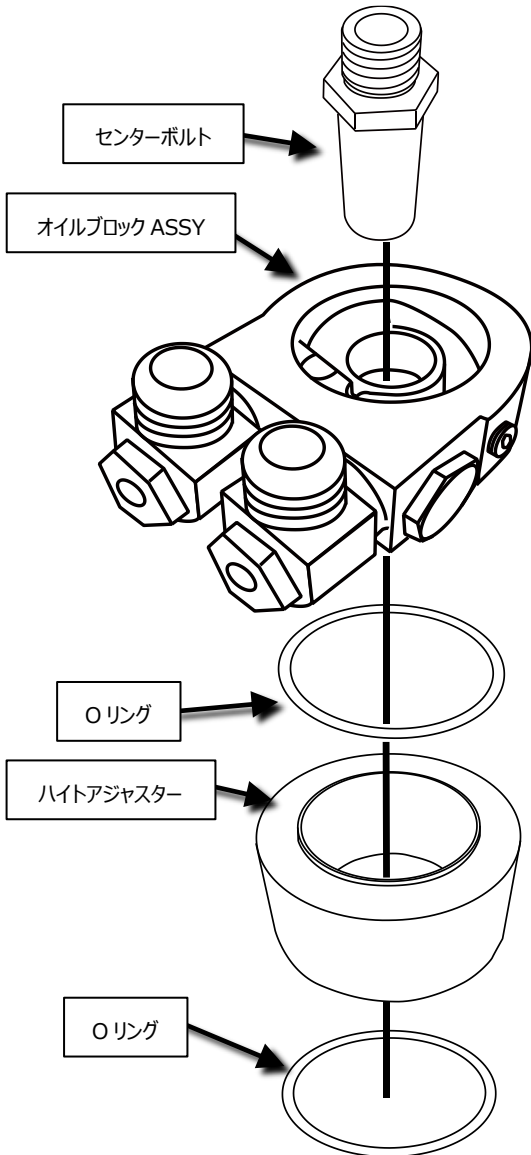
※1/8PT ネジ及びサーモスタッドのネジ部がきちんと締め付けられているか確認して下さい。

※1/8PT ネジの締めすぎに注意して下さい。

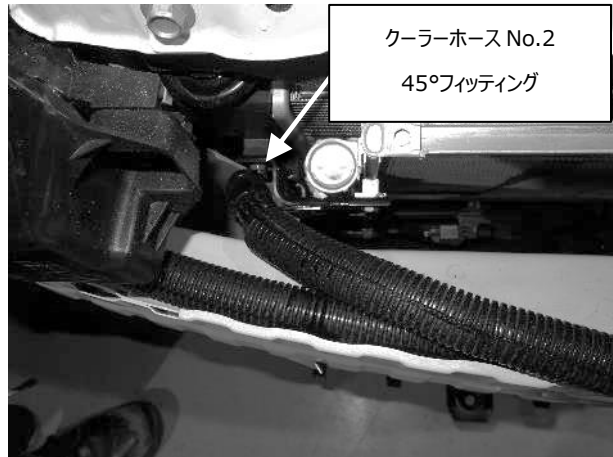
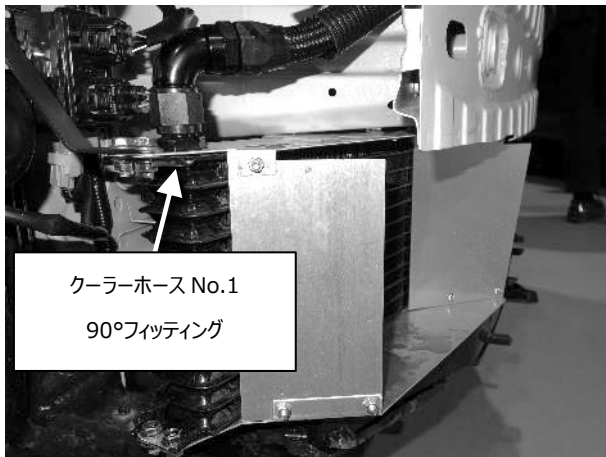
※各種センサーを組付ける場合は、任意の場所の 1/8PT ネジを取り外したのち、必ずシールテープ等を使用してセンサーを組付けて下さい。

※センターボルトの締めすぎに注意して下さい。

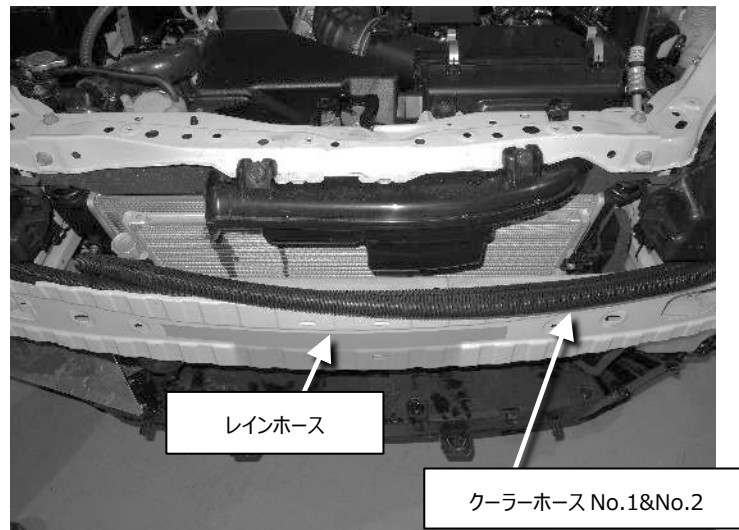
※各 O リングが溝部にしっかりと収まっている事を確認しながら作業を行って下さい。



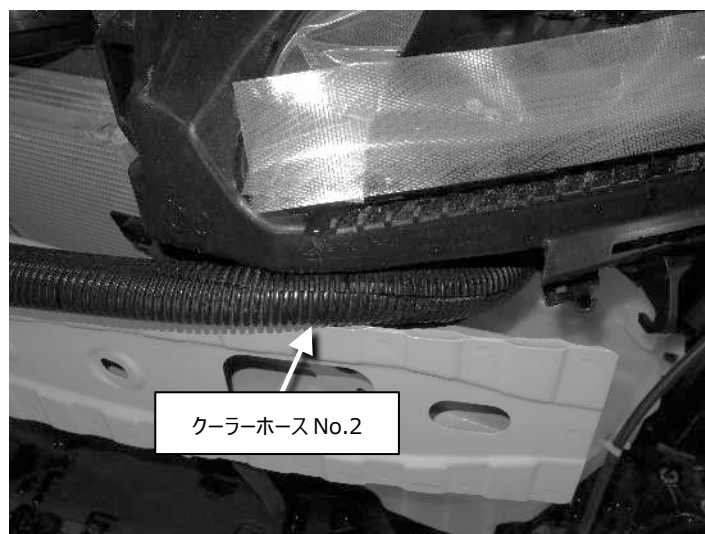
- 1 3) クーラーホース取り付け前にクーラーホース内部を洗浄し、異物が無い事を確認します。
 クーラーホース No.1 及び No.2 のホース全域に付属のコルゲートチューブを組付けます。
- 1 4) コア右側にクーラーホース No.1 (L=1600mm) の 90° フィッティングを仮組します。
 コア左側にクーラーホース No.2 (L=1510mm) の 45° フィッティングを仮組します。



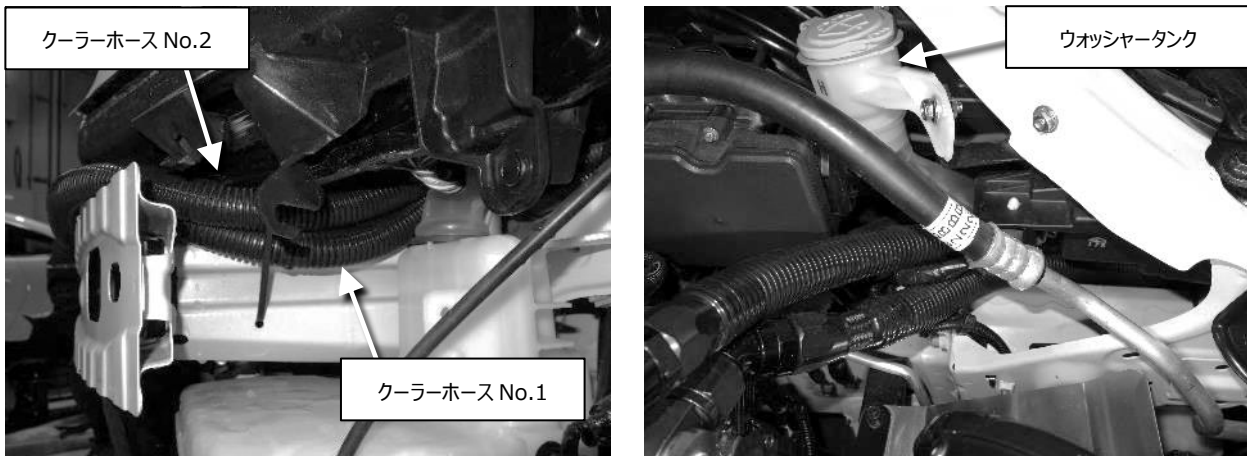
- 1 5) フィッティングの向きを調整してクーラーホースをレインホースの上面に沿わせます。



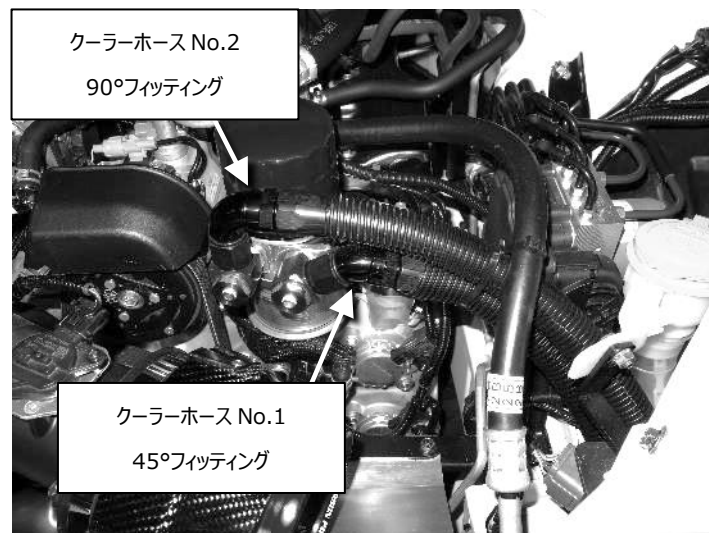
- 1 6) クーラーホース No.2 (L=1510mm) をヘッドライトの下に沿わせます。



17) 図を参考に各クーラーホースをウォッシャータンクの横に沿わせませす。



18) オイルブロック右側にクーラーホース No.2 (L=1510mm) の 90° フィッティングを仮組します。オイルブロック左側にクーラーホース No.1 (L=1600mm) の 45° フィッティングを仮組します。

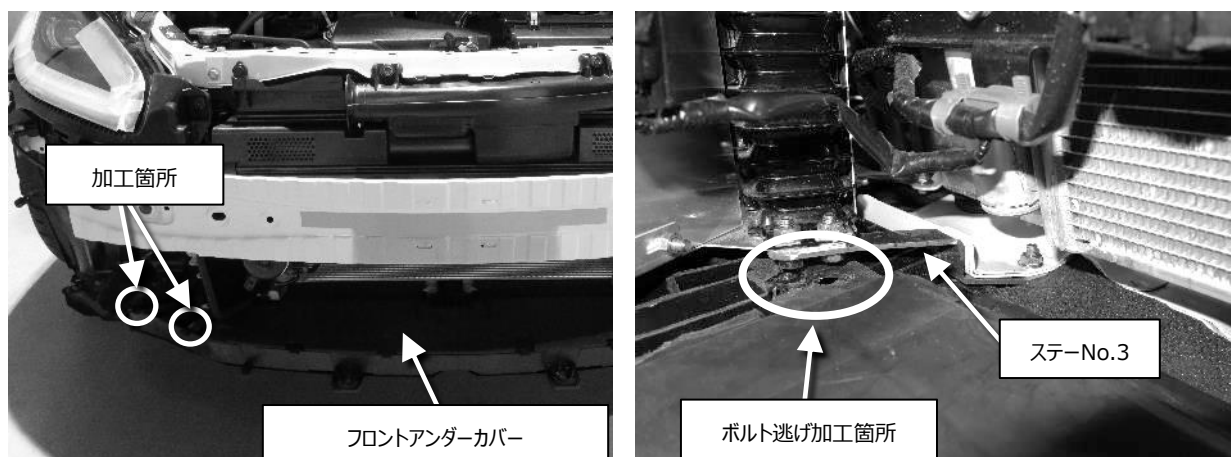


- 19) 稼動部分等に干渉が無いよう各部品的位置を調整して本締めします。
※ステア各種、センターボルト、フィッティング各種等の締め忘れが無いように注意して下さい。
※作業スペースが無く各フィッティングの締め付けが困難な場合は、各フィッティングの角度をマーキングしてコア本体またはオイルブロック ASSY を一旦車両より取り外したのちマーキングに合わせて各フィッティングを締め付けてから車両へ戻すと作業が可能です。
※必要に応じて付属のタイラップを使用しホースを固定して下さい。
- 20) オイルフィルターを取り付けます。
21) バッテリーのマイナス端子を接続します。
22) エンジンオイルを入れ、エンジン始動前にクランキングを行い、オイルをコアまで十分に循環させて下さい。また、エンジンの始動前には下記項目を点検して下さい。

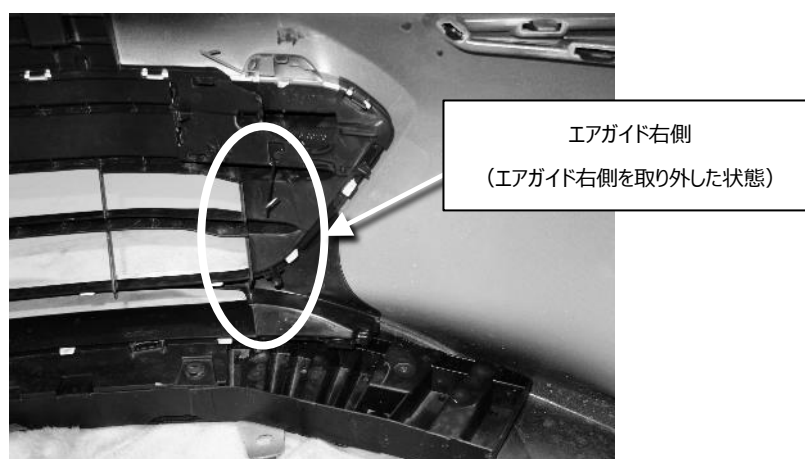
- オイル漏れは無いか。
- エンジンオイルがレベルゲージ内にあるか。
- ホースが他の部品に干渉していないか。
- 各部に締め忘れは無いか。

- 23) 初めに取り外した C/OPEN ヒューズを取り付け、リレーボックスのカバーを取り付けます。
24) エンジンを始動します。エンジンの回転数を上げて、十分に油圧が掛かる状態で各部に漏れが無いか確認を行って下さい。

25) オイル漏れが無い、オイル量は適正か、各部に干渉が無い確認を行い問題が無ければフロントアンダーカバーを加工して取り付けます。
 フロントアンダーカバー右側にある突起部2箇所を削り落とします。
 またステ-No.3のボルトと干渉する部分の逃げ加工を行います。
 ※加工前にフロントアンダーカバーを仮合わせして加工位置を確認して下さい。



26) エアガイド左側、エアクリーナ インレット ASSY を順に取り付けて下さい。
 27) フロントバンパー裏側のエアガイド右側を取り外して下さい。
 ※図の車種は BRZ です。



28) フロントバンパーを取り付けます。
 ※本製品とフロントバンパーが干渉していないか確認して下さい。
 干渉している場合は干渉しないように適宜加工して取り付けして下さい。
 ※弊社キットの AERO SPEED R-Concept 等のフロントバンパーを取り付ける場合にも同様に干渉確認を行い、必要に応じて適宜加工して下さい。

以上でキット取り付け作業は終了です。

□注意

- 走行前には必ずオイル漏れがないかを再度点検をして下さい。
- 走行中に、異臭、異音、振動など異常があった場合は、安全な場所に車を止め、点検を行なって下さい。
- 装着後も、定期的に緩みや干渉が無いか確認を行って下さい。

BLATZ